

心理学

年次	学期	学則科目責任者
1年次	前学期	池見 正剛 (人の行動と心理)

学習目標 (G I O)	心理学は人間と社会を理解する上で欠かせない膨大な知見をこれまで蓄積してきた。本講義の第一のねらいは、人と社会に関わる様々な問題について、常識、偏見、偏った報道などに惑わされない独自の見識を構築してもらうことである。そのため本講義では、心理学科の学生が習得すべき心理学研究のための専門知識よりも、人間と社会の生々しい本質を理解する為の心理学的トピックスを特に重視して紹介する。最終的に、幅広い専門知識やデータを、その時々話題に合わせて適切に引用して、説得力ある主張を展開する知性の一助にしてもらいたい。 知識は人を大きく見せる。主張内容に効果的に埋め込まれた知識は見識となり、主張者に説得力とイニシアチブ、信頼性とリーダーシップを付与する。リベラル・アーツ (一般教養科目) はそのためにある。目の前の問題を解決するだけの実務的知識とスキルだけが重要ではない事を理解してほしい。
担当教員	※池見 正剛
教科書	使用しない
参考図書	クリティカルシンキング入門編・実践編 E.B.ゼックミスタ、J.E.ジョンソン 北大路書房 ユーザーイリュージョン -意識という幻想- T.ノーレットランダーシュ 紀伊国屋書店
評価方法 (E V)	授業内小テスト (70%)、授業態度：私語や居眠り (30%) 2 回遅刻で1 回欠席、4 回欠席で単位認定資格喪失。 授業態度の悪さが目立つ学生は試験成績に関係なく不合格とする。
学生へのメッセージ オフィスアワー	メッセージ：原因よりも結果を重視する人は知的好奇心を感じない。「なぜか？」を意識して授業に参加して下さい。 オフィスアワー：授業終了後20 分、教室または講師室にて

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/10 (木) 1時限 09:00~10:30 A 2014/04/10 (木) 1時限 09:00~10:30 B	授業ガイダンス	<p>【授業の一般目標】 ガイダンスのため特になし</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ガイダンスのため特になし</p> <p>【準備学習項目】 本シラバスをよく読む</p> <p>【学習場所・媒体等】 教室・配布資料</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 101 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	池見 正剛
2014/04/17 (木) 1時限 09:00~10:30 A 2014/04/17 (木) 1時限 09:00~10:30 B	自分に嘘をついて 自らを守るようにする脳	<p>【授業の一般目標】 自己欺瞞に関する心理学的諸理論を理解する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 防衛機制、自己ハンディキャッピング、認知的不協和理論について説明できる 2. 自己奉仕バイアス、自己防衛バイアスについて説明できる 3. 以上の理論的観点から、自らの行動の意味を分析できる</p> <p>【準備学習項目】 どんな些細な事でもいいので自分に嘘をついた経験がないか、どんなタイプの嘘をついたか、と問われた時に自分なりの考えを述べる事ができる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 教室・配布資料</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 101 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	池見 正剛
2014/04/24 (木) 1時限 09:00~10:30	他人に嘘をついて 繁栄してきた人類	<p>【授業の一般目標】 他者欺瞞に関する心理学的諸理論を理解する</p>	池見 正剛

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
A 2014/04/24 (木) 1時限 09:00～10:30 B	他人に嘘をついて 繁栄してきた人類	<p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 他者欺瞞行為の発達心理学的意義を説明できる 2. 他者欺瞞行為と関連の深い人格障害の類型を説明できる 3. 他者欺瞞行為と社会的適応および生存確率の関係を説明できる <p>【準備学習項目】</p> <p>あらゆる意味で他人を巧みに騙せるという特性が、その人にどのような恩恵を与えるか、と問われた時に自分なりの考えを述べることができる。</p> <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>教室・配布資料</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>101教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	池見 正剛
2014/05/08 (木) 1時限 09:00～10:30 A 2014/05/08 (木) 1時限 09:00～10:30 B	壁を乗り越えられ る人間とそうでな い人間	<p>【授業の一般目標】</p> <p>希望を持ち続けるための「健全な楽観性」の意味を理解する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 失敗の原因帰属に関する3類型を説明できる 2. 動機づけに関する心理学的諸理論を説明できる 3. 以上の理論的観点から、自らの行動を内省または修正できる <p>【準備学習項目】</p> <p>食欲に成長する建設的な人間は、失敗したとき、その原因をどう解釈しているのか、と問われた時に自分なりの考えを述べるができる</p> <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>教室・配布資料</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>101教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	池見 正剛
2014/05/15 (木) 1時限 09:00～10:30 A 2014/05/15 (木) 1時限 09:00～10:30 B	誰もがもっている —他人を見下す心 理的メカニズム—	<p>【授業の一般目標】</p> <p>他者に対する否定的・無関心的態度のメカニズムを理解する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的帰属錯誤、究極的帰属錯誤、平均以上効果について説明できる 2. 都会人の冷淡な行動様式の原因、および傍観者効果を説明できる 3. 以上の理論的観点から、自らの行動を内省または修正できる <p>【準備学習項目】</p> <p>友人が何かで失敗したとき、その原因をあなたはどうか考えるか、またはその考えにどういった傾向があるか、と問われた時に自分なりの考えを述べることができる。</p> <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>教室・配布資料</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>101教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	池見 正剛
2014/05/22 (木) 1時限 09:00～10:30 A 2014/05/22 (木) 1時限 09:00～10:30 B	自分をも見下して しまう奇妙な人間 心理	<p>【授業の一般目標】</p> <p>うつ病の症状、類型、メカニズムなどを理解する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. うつ病の昨今の傾向と特徴について説明できる 2. うつ病のメカニズムに関して説明できる <p>【準備学習項目】</p> <p>うつ傾向のある人は、健常者よりも自分を正確に評価する。この点から考えて、なぜ彼らはうつになったのか、と問われた時に自分なりの考えを述べることができる。</p> <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>教室・配布資料</p>	池見 正剛

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/22 (木) 1時限 09:00～10:30 A 2014/05/22 (木) 1時限 09:00～10:30 B	自分をも見下して しまう奇妙な人間 心理	【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 101教室 【国家試験出題基準 (主)】 【国家試験出題基準 (副)】 【コアカリキュラム】	池見 正剛
2014/05/29 (木) 1時限 09:00～10:30 A 2014/05/29 (木) 1時限 09:00～10:30 B	マインドコントロー ルのメカニズム —教育と何が違う のか—	【授業の一般目標】 マインドコントロールという観点から我々の信念形成過程について科学的に理 解する 【行動目標 (SBOs)】 1. マインドコントロールの基本的技術について説明できる 2. 思想を強制されたという印象を与えずに信念を操作する方法について説明で きる 3. 主張に対して疑問を抱かせない方法について説明できる 4. 誘導された信念が定着する過程を説明できる 【準備学習項目】 信念というものは真実にとってウソ以上に危険な敵である (ニーチェ)。なぜ 危険なのか、と問われた時に自分なりの考えを述べるができる。 【学習場所・媒体等】 教室・配布資料 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 101教室 【国家試験出題基準 (主)】 【国家試験出題基準 (副)】 【コアカリキュラム】	池見 正剛
2014/06/05 (木) 1時限 09:00～10:30 A 2014/06/05 (木) 1時限 09:00～10:30 B	科学者も間違える原因の推定 —社会科学データの 欺瞞—	【授業の一般目標】 物事の原因、すなわち因果関係の推定に関する誤った方法を広く理解する 【行動目標 (SBOs)】 1. 因果関係と相関関係の違いについて説明できる。 2. 前後関係即因果の誤謬について説明できる 3. 相関の錯覚について説明できる 4. 利用可能性ヒューリスティックスについて説明できる 5. 以上の理論的観点から、物事の原因を正しく推測できる 【準備学習項目】 アイスクリームの売り上げが増えると、犯罪件数も増える。この見せかけの相 関を成立させている原因は何か、と問われた時に自分なりの考えを述べること ができる。 【学習場所・媒体等】 教室・配布資料 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 101教室 【国家試験出題基準 (主)】 【国家試験出題基準 (副)】 【コアカリキュラム】	池見 正剛
2014/06/12 (木) 1時限 09:00～10:30 A 2014/06/12 (木) 1時限 09:00～10:30 B	エリート集団がなぜ ミスをするのか	【授業の一般目標】 個人的心理特性からは予測できない集団のダイナミクスを現実の諸事例とともに に理解する 【行動目標 (SBOs)】 1. 集団凝集性と集団の硬直化について説明できる。 2. 同調圧力、集団思考、リスクシフトなどについて説明できる。 3. 以上の理論的観点から、現実の組織の集団力学について分析できる 【準備学習項目】 仲間たちと一緒にいる時、一人でいる時に比べ、行動や判断がどう変わるか、 と問われた時に自分なりの考えを述べることができる。 【学習場所・媒体等】 教室・配布資料 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 101教室	池見 正剛

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/12 (木) 1時限 09:00～10:30 A 2014/06/12 (木) 1時限 09:00～10:30 B	エリート集団がなぜミスを犯すのか	【国家試験出題基準 (主)】 【国家試験出題基準 (副)】 【コアカリキュラム】	池見 正剛
2014/06/19 (木) 1時限 09:00～10:30 A 2014/06/19 (木) 1時限 09:00～10:30 B	人はどこまで残酷になれるか? —役割の内面化と権威への服従—	【授業の一般目標】 ジンバルドの模擬刑務所実験、ミルグラムのアイヒマン実験などで観察された心理現象について理解する 【行動目標 (SBOs)】 1. 服従のプロセスを説明できる 2. 同調のメカニズムを説明できる 3. 同一視の効果を説明できる 4. 以上の理論的観点から、他者や組織に対する自分の振る舞いや態度を内省できる 【準備学習項目】 湾岸戦争で米兵は民間人をためらいもなく殺害した。彼らは自分達とは違う異常な人格の持ち主か、と問われた時に自分なりの考えを述べることができる。 【学習場所・媒体等】 教室・配布資料 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 101教室 【国家試験出題基準 (主)】 【国家試験出題基準 (副)】 【コアカリキュラム】	池見 正剛
2014/06/26 (木) 1時限 09:00～10:30 A 2014/06/26 (木) 1時限 09:00～10:30 B	感情は進化の過程で何の役に立ってきたか?	【授業の一般目標】 理性にはない感情の機能、感情理論の概観、互惠的利他主義などについて理解する 【行動目標 (SBOs)】 1. 感情は進化の過程で果たした役割を説明できる 2. 理性にはない感情の機能を説明できる 【準備学習項目】 日常生活において感情という存在が自分にどう役立ったか、と問われた時に自分なりの考えを述べることができる。 【学習場所・媒体等】 教室・配布資料 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 101教室 【国家試験出題基準 (主)】 【国家試験出題基準 (副)】 【コアカリキュラム】	池見 正剛
2014/07/03 (木) 1時限 09:00～10:30 A 2014/07/03 (木) 1時限 09:00～10:30 B	普段、意識されることのない高度な視覚情報処理	【授業の一般目標】 人間の視知覚のメカニズムに基づいて、物が見えるということの本質を理解する 【行動目標 (SBOs)】 1. 非感性的完結化、大きさ距離不変の法則、奥行き知覚のメカニズムについて説明できる。 2. 逆さ眼鏡の実験の意義、視知覚の恒常性の概要について説明できる。 【準備学習項目】 カメラは世界を見ているか、と問われた時に自分なりの考えを述べることができる 【学習場所・媒体等】 教室・配布資料 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 101教室 【国家試験出題基準 (主)】 【国家試験出題基準 (副)】 【コアカリキュラム】	池見 正剛
2014/07/10 (木)	意識よりも前に無	【授業の一般目標】	池見 正剛

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
1時限 09:00～10:30 A 2014/07/10 (木) 1時限 09:00～10:30 B	意識が判断している —B. リベットの実験—	無意識という概念の再評価に関する最近の動向、準備電位、意識の本質などについて説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 無意識という概念の再評価に関する最近の動向について説明できる。 2. 準備電位の実験と、この実験が提起する「意識の本質に関する問題」について説明できる。 【準備学習項目】 この授業を選択したのは、本当に自分の意識だと断言できるか、と問われた時に自分なりの考えを述べることができる 【学習場所・媒体等】 教室・配布資料 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 101教室 【国家試験出題基準 (主)】 【国家試験出題基準 (副)】 【コアカリキュラム】	池見 正剛
2014/07/17 (木) 1時限 09:00～10:30 A 2014/07/17 (木) 1時限 09:00～10:30 B	昔、人類は意識を持っていなかったのか —J. ジェインズの主張—	【授業の一般目標】 ジェインズの学説を支持する間接的証拠を説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 左脳に言語野がない事の異常性をいくつかの点から説明できる 2. 知覚と反応、学習、記憶、言語活動などに必ずしも意識が必要ないことを説明できる 3. 統合失調症の概要と、当該疾患に関するジェインズ独自の解釈を説明できる 【準備学習項目】 意識とは何かと問われた時に自分なりの考えを述べることができる 【学習場所・媒体等】 教室・配布資料 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 101教室 【国家試験出題基準 (主)】 【国家試験出題基準 (副)】 【コアカリキュラム】	池見 正剛
2014/09/11 (木) 1時限 09:00～10:30 A 2014/09/11 (木) 1時限 09:00～10:30 B	総括	【授業の一般目標】 小テストの提出状況を各学生個別に確認 【行動目標 (SBOs)】 1. 特になし 【準備学習項目】 これまでの授業で得た主要な知見と、新たに生まれた疑問を自らの言葉で述べることができる 【学習場所・媒体等】 教室・配布資料 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 101教室 【国家試験出題基準 (主)】 【国家試験出題基準 (副)】 【コアカリキュラム】	池見 正剛